

RAセミナー説明書 (中学 2、3年生向け 概要説明が 30分、実習は手順説明を含め120分程度)

ケガしない、ケガさせない!!

「誰も危害を受けない、
遭わせない」

B21.120625

主旨: 「安全であること」から生活を考える時、リスクアセスメントを活用して、危険を分析し、生活の気付かなかった危険を見つけ、これからの「生活の安全」を考え注意することで、つづく将来の夢に、廻って来るチャンスを生かせるよう、RAで人生を考える切っ掛けにしたい。

日時: 平成24年11月ごろ
場所: ◎◎中学校 ランチルーム

セミナーの目的

自分の身を守るために、
生活のリスクアセスメントをする。

メリット

こまかく危険を顕在化し、認識することで、
自ら危険予防をする力となる。

片山 安心コンサルタント
作成日: '12.06.29

所要時間:

対象:

小学生
6年生
|
中学生
1年生

20分

リスクアセスメント(演繹法)の有効性

一日の生活をリスクアセスメントをする為の準備

- ①何が「危険で」なのかわらなければならない。何が「良くて」「何がダメ」なのか?
- ②自分の周りを改めて見ることができる。自分の現在を知る。
- ③将来起こりそうな事を想像する。病気、怪我を主に、生活習慣に考えを広げる。
- ④一日の生活を洗い出して、一覧表にする。それらを「自分の基準」でリスク度を採点する。
- ⑤リスク度の高いものから生活改善・リスク低減の計画を立てる。
- ⑥立てた計画が別の危険になってないか考える。

対象:

中学生
2年生
|
中学生
3年生

30分

- ⑦改善を行い、途中で挫折そうになったら一覧表を見て、なぜ改善が必要と判断したのか考えてみる。
- ⑦3ヶ月経過したら改善の効果はあったか、無い場合は方法を変える。自分の努力だけで出来ないことは、まとめてメモして、「危険情報」として関係する人に教えたり、いつか出来るようになった時にする。

対象:

高校生
1年生
|
高校生
3年生

40分

- ⑧改善結果から次の目標を決める。進学や転校など生活環境が変化した時もリスクアセスメントを行う。

60分

リスクアセスメントを実際に行う

一日の生活をリスクアセスメントする

- ①一日の行動を表に書き出す。こまかく書ければとても良い。何かした時の周囲の状況を合わせて書けるとよい。
例: 朝の駅前で、列車に間に合わせようとスピードを出した乗用車が私の右横を通った
- ②一行ごとに、周囲の影響も加えた危険を考える。この危険が想像できることが重要です。
例: 踏切幅は車道より狭く、左右の車が通過すると人の歩くスペースが無くなる。「危険を想像する」は経験と訓練を積んで出来るので、疑似経験を。「危険を適正に恐れる」過度の心配は不安だけが增大する。
- ③危険の想像で物の名称を入れて表に書き出す。
例: 車と私の間隔が1mで、スピードが(約40km/hと)早く、私は風圧で飛ばされそうな気がした。OOが、□□して、△△になった。様子、動き、物の3要素を組み合わせ文章にする。
- ④自分で決めた基準表を作り、それに基づいてリスクの度合いを採点する。
- ⑤リスク度の高いものから日々の生活改善の計画を立てる。自分の努力だけで出来ないことはまとめて、メモして「危険情報」として公共性があるものは先生に、重大なものは行政へ相談してみる。
- ⑥立てた計画が別の危険になってないか考えて、危険の程度が低ければそのまま計画を実行するが、危険度が高ければ計画をやり直す。
- ⑦改善を行い、3カ月間隔で効果の確認を行い、続けるかやめるか、完了したかを判断する。

リスクアセスメントで、
生活リスクを無くす

生活のリスク低減は、将来に向けて
選択していく良い要素になる。

- ①「何が危険か、身の回りのリスクを知る」ことは、日々の選択(判断)で、何が危害か分析してあるとどうすべきか悩まずに済む。
 - ②自分の基準と他の人の基準の違いに気付くことができれば、話の食い違いや選択(考え)の基準が異なること知った上で、Yes, and な展開に発展できる。
 - ③リスクアセスメントの他手法があります。今の自分をじっくり考え、おぼろげな将来を想像する事で、目標設定と具体的な行動を決められます。
 - ⑤危険のない生活などありません。危険を減らす努力で、チャンスの時に健康で自分のやりたい事が出来る生活を掴みましょう。
- 以上

交通安全は、自分の身を守るために、共通のルールも必要です。(道路交通法 第43条)
一旦停止・安全確認・徐行です。「相手が守り、自分は守る」、だから安全になるのです。

RAセミナー企画書 (中学 2、3年生向け 概要説明が 30分、実習は手順説明を含め120分程度)

ケガしない、ケガさせない!!

「誰も危害を受けない、
遣わせない」

B21.120625

作成: 片山 安心コンサルタント
'12.06.29

主旨: 「安全であること」から生活を考える時、リスクアセスメントを活用して、危険を分析し、生活の気付かなかった危険を見つけ、これからの「生活の安全」を考え注意することで、つづく将来の夢に、廻って来るチャンスを生かせるよう、RAで人生を考える切っ掛けにしたい。

日時: 平成24年11月ごろ
場所: ◎◎中学校 ランチルーム

メリット
こまかく危険を顕在化し、認識することで、
自ら危険予防をする力となる。

セミナーの目的

**自分の身を守るために、
生活のリスクアセスメントをする。**

リスクアセスメントで、
生活リスクを無くす

生活のリスク低減は、将来に向けて
選択していく良い要素になる。

所要時間:

リスクアセスメント(演繹法)の有効性

一日の生活をリスクアセスメントをする為の準備

- ①何が「危険で」なのかわらなければならない。
- ②自分の周りを改めて見ることができる。
- ③将来起こりそうな事を想像する。
- ④一日の生活を洗い出して、一覧表にする。
- ⑤リスク度の高いものから日々の生活改善の計画を立てる。
- ⑥立てた計画が別の危険になってないか考える。
- ⑦改善を行い、途中で挫折そうになったら一覧表を見て、なぜ改善が必要と判断したのか考えてみる。
- ⑧改善結果から次の目標を決めたり、進学や転校など生活環境が変化した時にリスクアセスメントを行う。

対象:
小学
6年生
|
中学
1年生

20分

対象:
中学
2年生
|
中学
3年生

30分

対象:
高校
1年生
|
高校
3年生

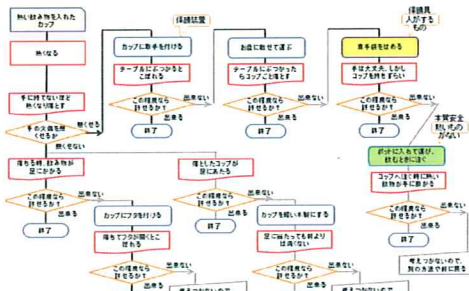
40分

60分

リスクアセスメントを実際に行う

一日の生活をリスクアセスメントする

- ①一日の行動を表に書き出す。
現実を見て「今の自分のレベルを知る」ことになる。
- ②一行ごとに、周囲の影響も加えた危険を考える。
- ③危険の想像で物の名称を入れて表に書く。
- ④自分で決めた基準表を作り、それに基づいてリスクの度合いを採点する。
- ⑤リスク度の高いものから改善の計画を立て、それが別の危険を起こさないか調べ、対策後のRAをする。



時間	内容	進め方のポイント	危険の発生	危険の発生	危険の発生	危険の発生
10分	準備	参加者の名前を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
20分	1日の生活を表に書き出す	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
30分	危険の想像	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
40分	危険の度合いを採点	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
50分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
60分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
70分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
80分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
90分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
100分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
110分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。
120分	危険の発生	机の番号を記入し、机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。	机の番号を記入する。

- ①「何が危険か、身周りのリスクを知る」ことは、日々の選択(判断)で、何が危険か分析してあるとどうすべきか悩まずに済む。
- ②自分の基準と他の人の基準の違いに気付くことができれば、話の食い違いや選択(考え)の基準が異なること知った上で、Yes, and なら展開に発展できる。
- ③リスクアセスメントの他にも手法があります。今の自分をじっくり考え、おぼろげな将来を想像する事で、目標設定と具体的な行動を決められます。
- ⑤危険のない生活などあり得ません危険を減らす努力をすることで、チャンスの時に健康で自分のやりたい事を掴みましょう。

以上

